



# コロナ禍での地質学・岩石学研究一例

2023

1/21 土

13:30 ~ 15:00

講師 北野 一平  
北海道大学総合博物館

<https://forms.gle/Tbub2ux7VQNkAwKY7>



お申込みフォーム

事前申込制 / 定員50名

応募者多数の場合抽選となります。

申込〆切：2023年1月13日（金）

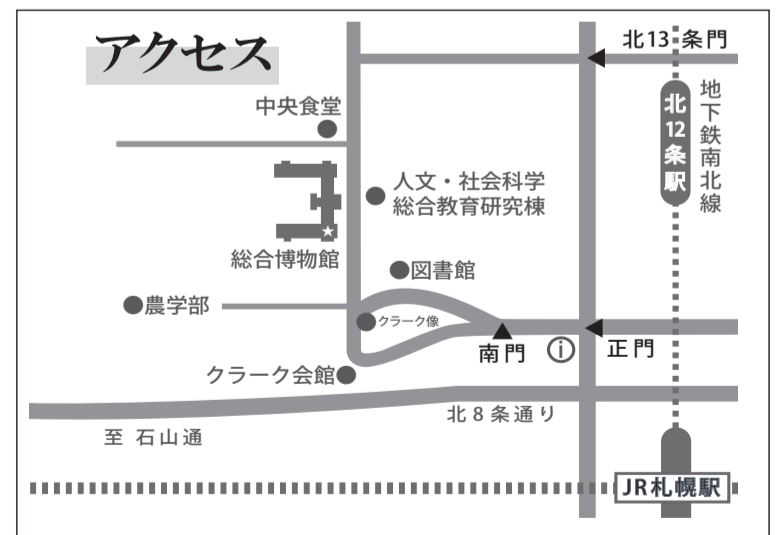
左載 QR コードからお申し込みください。

会場

北海道大学総合博物館 1 階  
「知の交流」

地質学とは、ある地域の基盤となる岩石の分布と構造を把握しその成り立ちを明らかにする学問です。私の研究では、主に岩石中のジルコンという鉱物を用いて解析し、スリランカや南極の地史の一端を解読してきました。しかし、コロナ禍の2019年末から現在に至るまで、私の研究環境は激変しました。コロナ禍で海外への調査が困難になったため、国内での地質調査を加速させ、膨大な量の分析を行いました。その半ばでの異動により、限られた研究設備の中で研究活動を継続することもありました。セミナーでは、私の経歴を踏まえて、コロナ禍における研究活動・環境の変化と、その中でも積み重ねてきた研究成果などを紹介します。

アクセス



お問い合わせ

TEL : 011-706-2658

HP : <http://www.museum.hokudai.ac.jp/>